

平成30年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2	年次	2
使用教科書	「明解現代文B」【改訂版】(三省堂)						
副教材等	「カラー版新国語便覧新版三訂」(第一学習社)、「意味から学ぶ常用漢字」(第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ

私たちは言葉を使い、意思を伝え合って社会生活を送っています。グローバル化やIT化の中で、コミュニケーションのあり方は変化していますが、私たちの活動のほとんどが、「言語」によって支えられていることは間違いありません。母語である日本語を話す力や書く力を鍛えることは、人生をよりよく生きていく上で重要なことです。

現代文の学習には、「道具」としての言語能力の獲得とは別に、作品を読むことによって人間として内面的に成長することに大きな意味があると思います。遙かに遠い人生の道のりを前にして、恐れ、悩み苦しむ時期にある高校生の皆さんには、文学作品の中に自分の将来の理想像を見出だしたり、同じ悩みを持つ仲間を発見したりすることが、自分自身の人生を切り拓く勇気を持つことに繋がることでしょう。また、時代を超えて伝承されてきた日本の文化を知ること、自分自身を理解することにつながります。評論を読むことにより、現代の社会が抱える大きな問題を解決しようとする人々の存在を知り、高所に立った見方を持つ必要性を感じることでしょう。

現代文Bの学習は、皆さんの人生をよりよいものにするヒントを得られる魅力的なものだと信じています。有意義な時間となるように、積極的に授業に取り組んでくれることを願っています。

2 学習の到達目標

- ・近代以降の様々な文章を読み、内容を的確に捉え、自分の意見を持つことができる。
- ・自分の意見を相手に伝え、他人の意見を聞くことで考えを深めることができる。
- ・予習として事前に本文を読み授業に臨み、授業後は理解した内容を整理し、理解を深めることができる。
- ・授業で読んだ文章に関することについて自ら調べ、その結果をまとめることができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本語に興味を持ち、進んで国語力を高めようとする。授業内容に強い関心を示し、積極的に参加しようとする。	教授者や仲間の発言を的確に聞き取り、それに応じて自分の考えを深め、まとめながら、効果的に話したり話し合ったりする。	自分の考えをしっかりとまとめ、相手や目的など場に応じた適切な表現による文章を書くことができる。	文章を的確に読み取ったり、その裏に隠されたものを読み解いたり、視野の広い見方で読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	日本的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	授業の受け方 ノート・提出物 等の記述の点検	授業の受け方 発表等の発言の 内容の点検	ノート・提出物 等の記述の内容 の点検 定期考査	授業中の発表、 ノート・提出物 等の記述の内容 の点検 定期考査	授業中の発言、 ノート・提出物 等の記述の内容 の点検 定期考査 小テスト

上に示した観点に基づいて、学習単元ごと・学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。評価は学習内容に応じて、それぞれの観点毎に適切な割合を案分して行います。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	教材: 「葉桜の頃」「蜜柑の受難」 (新しい発見や感動したことを整理し、日本人にとっての季節、共通する心理について理解する。)	○		◎	◎	○	a:興味を持って読んでいる。 c:題材・着眼点の面白さと表現の工夫に気づき、それをわかりやすく説明できる。 d:筆者の意図を的確に理解し、自分の考えで深めようとしている。 e: 基礎的な語句の意味や用法を理解し、引用されている有名な言葉や古典について理解している。	a、c、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
	小説	教材: 「水かまきり」 「芋ようかん」(小説の場面展開を的確に読み取ると同時に、登場人物の細かな心理を理解する)	○	◎		◎	○	a: 小説の内容とおもしろさを的確にとらえ、味わうことができている。 b: 考えの進め方や、情景・心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 d: 作品の主題を的確に掴み、生きるヒントに発展させている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、d: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査 e:小テスト
	評論	教材: 「コンコルドの誤り」 「想像する力」 (文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえる)	○			◎	○	a:文章の形態や文体、語句など関心を持ち、筆者の主張を読み取ろうとしている。 d:文章の構成を考えて、筆者の考えの論拠となる部分を読み取り、言外に示された筆者の主張を理解しようとしている。 e: 抽象的な概念を示す語句への理解が進んでいる。	a、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
2学期	詩	教材: 「汚れつちまつた悲しみに……」 「耳の秋」 (詩のリズムや表現の特色を味わう。作品に託されたイメージを通じて、作者の心情を考える)	○			◎	○	a: 詩的響きの持つ効果を理解している。 d: 作者の思いを理解している。 e: 詩の形式を理解している。	a、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査

	小説	教材： 「ナイン」 「カコの話」 (小説のおもしろさを味わい、その主題と構想とを理解する。小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身につける)	○	◎	◎	○	a: 主人公が置かれた状況を理解すると同時に、場面展開を理解し、主人公の心理変化を読み取ろうとしている。b: この小説で作者が述べたかったことについて説明できる。d: 情景描写や心理描写における表現方法・効果に着目し、より深い理解に結びつけられる。e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b、d、e: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査	
	評論	教材： 「持たないという豊かさ」 「ネット人格」 (評論を読んで、そこに提示された問題を正確に把握し、理解するとともに、自分自身の問題として考える)	○		◎	○	a: 論理の展開を体系的に正確に読み取り、筆者の考えを理解している。 c: 筆者の考えに対する自分の考えを正確に説明できる。 e: 抽象的な概念を示す語句への理解が進んでいる。	a、c: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査 e: 小テスト	
	短歌	教材： 「ただ一枚の絵葉書」 (短歌のリズムや表現の特色を味わう。作品に託されたイメージを通じて、作者の心情を考える)	○		◎	◎	○	a: 短歌の響きや言葉の美しさ、表現の持つ効果を理解する。 c: 自分が受け止めた思いを言葉で的確に表現している。 d: 作者の思いを情景とともに理解している。 e: 短歌の歴史や形式を理解している。	a、c、d、e: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査
3 学期	小説	教材： 「こころ」 (場面の展開や人物の性格・心理の描写を的確に読み取る。描かれた人物の思考や行動をとおして、人間のあり方生き方についての考えを深める)	○	◎	◎	○	a: 物語の流れの中から、登場人物の心理描写に着目して、登場人物の心理変化を読み取り、それを説明する表現の仕方を理解する。 b: 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを客観化したりして、実りの多い話し合いをしている。 d: 登場人物の会話や行動から、二人の心理を的確に捉えている。 e: 小説の背景としての明治という時代を、世相や風俗をふまえて的確に理解している。小説における比喩や象徴的かつ暗示的な表現も理解している。	a、b、d、e: 授業の受け方と 提出物の点検 定期考査	

	読書と人生	教材： 「お勧め本のポップを作ろう」 (読書の役割について理解し、進んでさまざまな書物を読み、視野を広げ、考えを深める。)	○	◎	◎		a: ポップの必要性などについて理解している。 b: 作成した作品をもとに、他の学習者に本の魅力を伝える努力をしている。 c: 本の内容を理解した上で、それを十分に伝える作品に仕上げている。	a、b、c: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
	言語活動	テーマ： 「手紙・メール・文書」	○	◎	◎		a: 様々なコミュニケーションの手段の特性を知った上で、効果的な方法を考え、伝え方を身に付けようとしている。 b: 効果的な方法についての的確に説明できている。 c: ルールやマナーに則って作品を作っている。	a、b、c: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。